
一年の恋

ふもふも

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一年の恋

【Nコード】

N4143Q

【作者名】

ふもふも

【あらすじ】

高校時代の淡い恋です。

きっかけ

夜泣きで起きた息子を寝かしつけた。

私の腕の中で眠っているこの子は安心してきつっている。

豆電球の柔らかな光が優しく顔を照らした。

この子ももうすぐ一歳になる。

大きくなったなあ。

そんなことを思いながらぎゅっと抱きしめる。それはきつと母親になった者しか分らない気持ちだろう。自分が産み出した命を大事に大事に育てて抱き締める。自分をこんなに必要としてくれる。私はこの子を包み込むことで、この子は私に包まれることで満たされた。

そろそろ痺れてきた腕をそつと抜こう。

ゆっくりゆっくり。寒い冬の夜 私たちは寄り添って眠る。

飲食店の旦那は帰りが遅かった。

こうやって帰ってくる前に寝てしまうこともよくあった。

いつもと変わらない1日だった。

でも私はいつもと違う気持ちでいた。

私はもうずっと昔の普段思い出すことのない記憶を辿っていた。

それは高校生のころ。あの人のこと

彼とはどうやって出会って どんなことがあって どうやって別れたのか。

なるべくたくさんのことを思い出していた。

不思議だ。

思い出すと止まらなかった。

順番はめちゃくちゃだけどぐるぐる頭の中を巡ったそれは、全部いい思い出だった。

いいとこだけを切り取って都合よく貼り付けてある。

記憶というのは怖いものだ。

苦しかったことや悲しかったことなどなかったんじゃないかと思った。

こんなことを何故思い出したのか。

そう、それは明日彼に8年ぶりに会うからだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4143q/>

一年の恋

2011年1月28日03時59分発行